

2019年版

環境報告書

(2018年4月～2019年3月)



 生活協同組合 ララコープ。

ごあいさつ

ララコープ「21世紀の10のビジョン」

ビジョン 4

よりよい地球環境を 次の世代に引き継ぐために努力します。

1

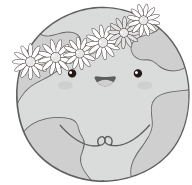
私たちは、環境やエネルギーを大切にし、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換と、省エネルギーの取り組みを組合員のくらしと生協事業の中で積極的にすすめていきます。

2

よりよい環境を作るために、環境測定やリサイクル活動を通じて、環境破壊の進む地球を見つめなおし、行政や他団体へも積極的に働きかけていきます。

3

環境にやさしい商品づくりをすすめ、みんなで利用する活動をすすめます。



理事長ごあいさつ



代表理事 理事長
石原 茂

2018年度はララコープ誕生20周年と新たな中期3ヶ年計画の初年度という節目の年でした。20周年記念行事では県内21万世帯の組合員の皆様を始め、お取引先様など多くの皆様のご協力を頂き心から感謝申し上げます。

地球環境問題に関しては、継続的な取り組みを毎年繰り返している訳ですが、地球温暖化の防止対策については、更に努力が必要な状況と考えています。2018年度は、ララ日野とララながよを改装し省エネ機器に切替えました。また、外部委託により実施している省エネチューニングも深耕しています。取り組みの結果として夏場の気温上昇の影響が大きくララコープ全体の電気使用量については、前年比で増加しております。一方、フロン類使用の管理については、基準値の年間算定漏えい量1000t-CO₂以内に抑

制することができています。

政府のパリ協定長期成長戦略の中に今世紀後半のできるだけ早期に「脱炭素社会」の実現を目指し2050年までに80%の温室効果ガスの排出削減に取り組み、気温上昇を1.5℃に抑える努力目標も含めパリ協定の長期目標の実現に向けた日本の貢献を示すこと等が提言されています。ララコープにおいても日本生協連と連携しながら、2021年から2030年までの目標を策定する為に準備を進めています。

この間の活動全般について、ララコープをご利用の組合員の皆様と役職員との協同により進められた取り組みとして感謝しております。

今後ともお気づきの点がございましたら、ご意見ご助言を頂きますとともに、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

もくじ

ビジョン・理事長あいさつ……………	1	コミュニケーションの取り組み……………	10
もくじ・事業概要……………	2	■内部伝達の取り組み状況	
環境方針……………	3	■外部伝達の取り組み状況	
統合マネジメント管理体制……………	4	リサイクルの取り組み……………	11～12
■2018年度統合マネジメント推進委員会の中の環境管理体制		■各リサイクル資源物の回収状況	
環境マネジメントの取り組み……………	5	■環境月間キャンペーンの取り組み状況	
■環境管理の取り組み状況		環境保全の取り組み……………	13～14
■教育状況		■エリア委員会の取り組み状況	
環境法規の順守状況……………	6	環境測定の取り組み……………	15
■順守評価		■大気測定の取り組み状況	
地球温暖化防止の取り組み……………	7	エコライフ・ウィークの取り組み……………	16～17
■地球温暖化防止自主行動計画の取り組み状況		■ながさきエコライフの取り組み概要	
■節電取り組みの状況		■エコライフ・ウィーク エコチェックシート	
■エコライフ・ウィークの取り組み状況		p17のエコチェックシートについては、記入後に	
省資源の取り組み……………	8	切り取り、ララコープへのご提出・ご協力をお願い致します。	
■店舗レジ袋削減の取り組み状況		省エネの取り組み……………	18
■主なプラスチック容器の使用状況		■太陽光発電の取り組み状況	
■水道水、コピー・印刷用紙の使用状況		■フロンの使用と管理の状況	
環境配慮商品の普及・廃棄物削減の取り組み……………	9	■省エネチューニングの取り組み状況	
■環境配慮商品の普及			
■廃棄物の排出状況			

2018年度事業概要

設立	1999年4月1日（県内の旧2生協が合併）					
本部所在地	〒851-2121 長崎県西彼杵郡長与町岡郷1474番地					
代表理事 理事長	石原 茂					
会長	井手 こそえ					
副会長	末永 潤子 川田 美由紀 金田 真里					
専務理事	森下 美津生					
常務理事	山城 伸一					
活動エリア	長崎県全域					
施設	本部、支所（10）、店舗（9）					
事業状況	供給高	222.2億円	出資金	66.9億円	組合員数	21.5万人

環境方針

理念

生活協同組合ララコープは、「自立した市民の協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、持続可能な社会を実現する」という21世紀の生協の理念に基づいて、環境問題を生協運動の根源的課題として位置づけ、率先して取り組みを進めます。

方針

生活協同組合ララコープは、長崎県の多くの消費者・組合員が集い、食料品を中心とした商品の供給事業及び福祉・共済などのサービスを組合員に提供していることを踏まえ、以下の環境に配慮した活動を行います。

安定した事業経営並びに事業活動、商品、サービスから発生する環境影響の大きな項目について、技術的かつ経済的に可能な範囲で環境目的・目標を設定し環境負荷の軽減に努め事業と環境の連動強化を推進します。組合員及び取引先や生産者と共に地域での循環型社会に貢献します。環境側面に関する法令、条例、受け入れを決めたその他の要求事項を順守し、汚染の予防、生物多様性の保全への配慮と環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

1. 低炭素、自然共生、循環型である持続可能な社会づくりに向けて「環境に配慮した商品」の普及に取り組むと共に、容器包装の削減を推進します。
組合員の声をもとに事業連合や取引先と協同して開発した、安全・安心な産直商品やコープ商品の利用普及に努めます。
2. 地球温暖化防止と限りある資源を有効に使うため、エネルギー使用を抑制し、事業活動に伴う環境負荷の軽減に取り組みます。各事業所では供給高の確保とエネルギー使用の効率を高め供給高1億円当りのCO₂排出量を削減します。また、フロン類の使用と管理を適正に行います。全体では、CO₂排出量総量削減に取り組みます。
3. 改正省エネ法に基づいた管理標準の運用により電力使用量を削減します。業務車両の燃料効率を向上させ、使用量を抑制します。また、電気や車両運用に伴う二酸化炭素(CO₂)等の排出量を削減します。
4. 業務上使用する資源の使用抑制とグリーン購入を推進します。
5. 店舗の商品ロスなどの廃棄物の抑制と再資源化を推進します。また、組合員と共に牛乳パック、卵パック、トレイ、集品袋、カタログなどリサイクル品の回収量を向上させます。
6. 店舗でのマイバッグ持参運動を中心とした取り組みで持参率を高め、レジ袋の使用量を抑制します。
7. 組合員と共に、水質調査や大気測定活動など環境保全活動を推進し、環境保全型社会づくりに取り組みます。

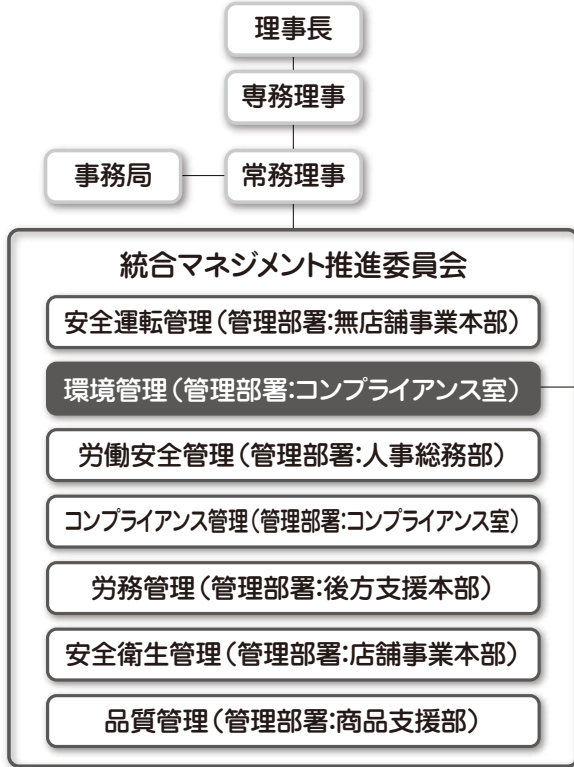
以上の活動を進めるために、定型教育・会議等により、全職員に対する教育・啓発を積極的に行います。

この環境方針は、ララコープ内外に公表します。

2016年5月31日改定
生活協同組合ララコープ
代表理事 理事長 石原 茂

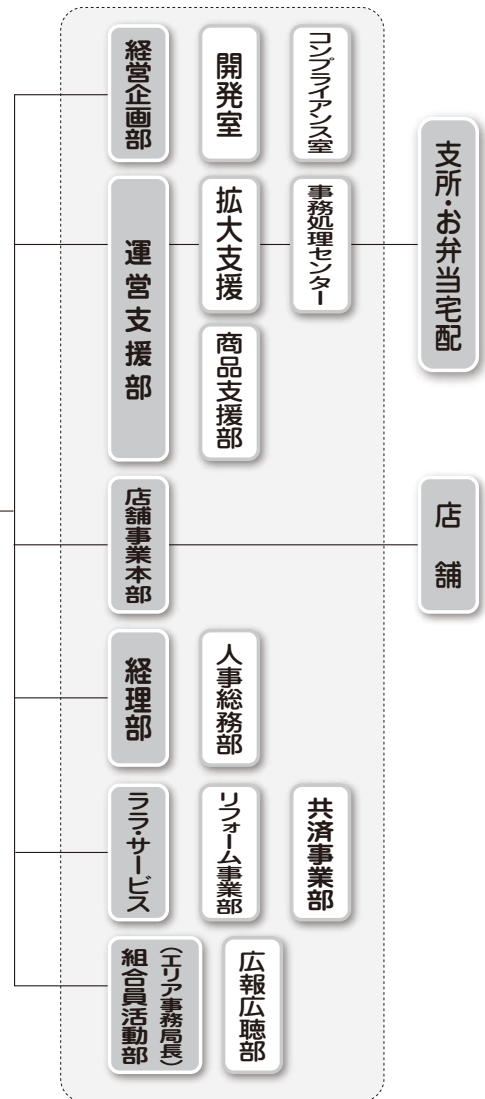
統合マネジメント管理体制

2018年度統合マネジメント推進委員会の中の環境管理体制について



エネルギー
管理統括者

エネルギー
管理企画
推進者



《環境管理体制について》

統合マネジメント推進委員会の中でマネジメント管理の1部門として環境管理を推進しています。
 ■ 枠囲みの部分の単位で目的・目標を設定しています。 □ 枠囲みの電力使用量と廃棄物排出量の管理については、経理部が全体の目的・目標を設定し、全部署で共通のプログラムで取り組みます。

○環境取り組み推進の為の管理項目について

- ・ 供給高1億円当たりのCO₂（二酸化炭素）排出量を原単位として管理
- ・ CO₂（二酸化炭素）排出量の管理
- ・ 供給高の管理
- ・ 電気使用量の管理
- ・ 車両燃料使用量の管理
- ・ ガス使用量の管理
- ・ 水道使用量の管理
- ・ コピー用紙使用量の管理
- ・ 廃棄物の排出量の管理
- ・ 資源物の排出量及び回収量の管理
- ・ レジ袋の使用量、マイバッグ持参率の管理
- ・ 生ごみ堆肥化状況の管理
- ・ 環境配慮商品の普及状況の管理
- ・ フロン漏えい量の管理

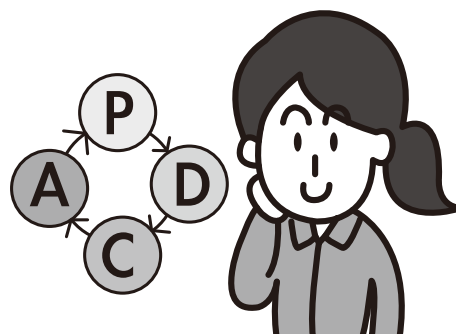
環境負荷逡減をテーマに月次での管理を実施しています。

（省エネ法のエネルギー管理の為の体制としてエネルギー管理統括者1名とエネルギー管理企画推進者1名を選任しています。）

環境マネジメントの取り組み

環境管理の取り組み状況

PDCAを基本にして継続的改善を実施しながら推進しています。日常の管理は、経営企画部、組合員活動部、経理部、運営支援部、店舗運営部、ララ・サービスを実務部署にして関連する事業本部の計画及び実績、運用状況の把握を行っています。環境負荷逓減による事業貢献状況を管理する為に供給高1億円当たりのCO₂排出量を重点課題としています。よって、環境側面のCO₂排出量と事業測面の供給高を管理することとしています。環境法規の順守対応は、行政への各種定期報告書を期限内に提出し指摘は発生していません。フロン類の使用の合理化及び管理の適正化については、定期点検及び簡易点検の実施徹底により、基準値である算定漏えい量1000t-CO₂以内で抑制できています。また、他団体との関係では、日本生協連や行政（県、市）との連携を進める中、行事や会議へ参加しています。各取引先業者とのコミュニケーションを図り業界の状況把握を大切にしながら進めています。エリア委員会を中心とした組合員の取り組みについては、自主的自発的に行われており、環境負荷逓減に直接有益な取り組みとして貢献しています。



教育の実施状況

幹部職員を対象に3月15日（金）の幹部職員集会にて統合マネジメント教育の中で環境についての教育を実施しました。管理者教育の資料として2019年度版「ララコープ行動基準」実践の為にハンドテキストを活用しています。2019年度の取り組み開始に向けての学習内容となっています。ハンドテキストの構成は、「安全運転」「環境管理」「労働安全」「労務管理」「コンプライアンス」の5つのテーマになっています。四半期毎に一度の振り返りを行う自己評価表としても活用を推進しています。環境管理については、3ページに渡り、「電気使用量の抑制、フロンの漏えい量管理の徹底」「車両燃料使用量の抑制」を推進する中身になっています。この学習実施後は、各部局毎に所属長を通して一般教育が実施され組織全体の取り組みとなるよう推進しています。正規職員の入協者研修のカリキュラムの中で、4月上旬に、ハンドテキストと環境報告書を活用した研修を実施しています。

2019年度版
「ララコープ行動基準」
実践の為にハンドテキスト (一般教育用)

コンプライアンス基本方針(組織倫理宣言抜粋)
「役職員一人ひとりが組織倫理を自らのものとして実践し、組織倫理の高い生活協同組合を実現させます」

内部統制基本方針(コンプライアンス体制抜粋)
当生協は「コンプライアンス基本方針」「ララコープ行動基準」に基づき、組織倫理をたかめ、法令等を順守することを役員に周知徹底します。事業活動の局面において、コンプライアンスを優先する風土創りに努めます。

2019年度基本方針重点骨子(2019年度方針骨子抜粋)
役職員全員が組合員とともに、取引先、地域含めて社会全般から信頼を得られる組織づくりを推進します。そのための人づくり、組織づくりに取り組みます。合わせて、コンプライアンス順守、内部統制をより確実なものとしします。

ハンドテキストの活用について
四半期毎(6月、9月、12月、3月)の自己評価と事業所単位で振り返りを行い自分事の意識強化を図ります。

生活協同組合 ララコープ
統合マネジメント推進委員会 2019年3月発行(第8版)
- 1 -

環境法規の順守状況

法規制は、環境マネジメントにおいて最も基本的な要素であり、その順守に努めています。関連する主な環境関連法規及び規定は次の通りです。尚、2018年度において順守事項についての対応は、問題なく実施することができました。

環境法規の順守評価

法律・条例名	順守事項	実施内容
消防法	防火管理者の設置。 灯油地下タンクの定期的な点検。	防火管理者の選任及び変更届を提出しました。 設置部署の定期点検を実施しました。
浄化槽法	浄化槽の定期水質検査、保守点検・ 清掃の実施。	保守点検の定期実施と年1回の法定検査を実施 しました。
騒音規制法 長崎県公害防止条例	冷凍機（原動機の定格出力が7.5Kw 以上）の特定施設設置の届出の提出。	特定施設設置の市町村への届出控えを管理してい ます。
廃棄物の処理及び清掃 に関する法律（廃棄物 処理法）	廃棄物の排出を抑制し、廃棄物を適 正に分別・保管・収集・運搬・再生・ 処分する。	産業廃棄物処理委託業者の許可証有効期限を点 検・確認しました。 マニフェスト（産業廃棄物管理表）発行を確認し、 行政（長崎県、長崎市、佐世保市）への定期報告 書を6月までに提出しました。
長崎市及び佐世保市廃 棄物の減量及び適正に 関する条例	事業系一般廃棄物の減量計画書の提 出。	指定された行政毎（5月提出：佐世保市3店舗、 6月提出：長崎市4店舗）に減量計画書を提出し ました。
食品リサイクル法	食品廃棄物の発生抑制を優先し、「再 生利用」「熱回収」「減量」を促進。 45%の再生利用を実施。	県南・県央6店舗で排出の生ゴミの堆肥化（約 80%の堆肥化率）を実施しました。行政への定 期報告書を6月までに提出しました。
容器包装リサイクル法	容器包装廃棄物の排出の抑制、分別 収集および再商品化を促進。	（財）日本容器包装リサイクル協会と再商品化委 託契約を結び再商品化義務を履行しています。 2018年度の委託金額として304万円を支払い ます。
エネルギーの使用の合 理化に関する法律（省 エネルギー法）	（輸送）特定輸送事業者認定による 定期報告書の提出。	九州陸運局への定期報告書を6月までに提出し ました。
	（工場等）特定事業者認定による定 期報告書の提出。	経済産業局等へ定期報告書・中長期計画書を7月 までに提出しました。電気需要平準化の指針をも とにした管理と報告の準備を行いました。
フロン類の使用の合理 化及び管理の適正化に 関する法律	算定漏えい量報告（年1000t-CO ₂ ）、 検査	漏えい量のデータ集約とログブックによる管理を 行いました。また、定期点検、簡易点検を実施し ました。フロン漏えい発生量が基準値内に抑制の 為、報告書の提出義務は発生しませんでした。
長崎県未来につながる 環境を守り育てる条例	温室効果ガス排出量の報告。	長崎県への定期報告書・削減計画書を7月まで に提出しました。

地球温暖化防止の取り組み

地球温暖化防止自主行動計画の取り組み状況

2018年度は、引き続き供給高1億円当りのCO₂（二酸化炭素）排出量を原単位として管理し重点課題として取り組み毎月開催の統合マネジメント推進委員会の中で進捗状況を確認しました。

○供給高1億円当りのCO₂（二酸化炭素）排出量の推移

	単位	2016年	2017年	2018年	傾向
供給高1億円当りのCO ₂ （二酸化炭素）排出量	t-CO ₂ /億円	23.5	22.7	23.2	😊
前年対比	%	95.9%	96.6%	102.2%	
CO ₂ 排出量	t	5,302	5,054	5,109	😊
前年対比	%	96.9%	95.3%	101.1%	

2018年度の供給高1億円当りのCO₂排出量は、前年比102.2%の増加となりました。3年間の推移に関しても増加傾向となっています。また、CO₂排出量においても増加傾向となっています。

○エネルギー毎の推移

	単位	2016年	2017年	2018年	傾向
電力使用量	Kwh	10,502,238	9,876,675	10,034,051	😊
ガソリン使用量	ℓ	150,943	184,681	207,620	😊
軽油使用量	ℓ	301,966	271,891	256,974	😊
LPG使用量	ℓ	7,897	2,607	0	😊
ガス使用量	m ³	29,258	28,691	26,250	😊

節電取り組み状況

節電の取り組みの一環として、クールビズを5月1日から10月31日までの期間で実施しました。店舗では、リニューアルでの省エネ設備に切替えする等、実施しました。本部では、チェックリストを活用し電源消し忘れ防止の取り組みを推進しました。

エコライフ・ウィークの取り組み状況

ララコープでは、長崎市が主催する「ながさきエコライフ」の取り組みに合わせて地球温暖化防止対策に向けた市民運動を推進しています。今年も環境活動（エコライフ・ウィーク）の取り組みである「エコチェックシート」にたくさんのご参加を頂きました。参加された人数は、1941名で、二酸化炭素（CO₂）排出量の削減量は、6,228kgとなっています。これからも次の世代によりよい環境を引き継ぐため、省エネの取り組みを継続していくことを確認しました。

省資源の取り組み

店舗レジ袋削減の取り組み状況

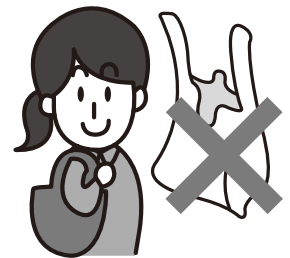
○マイバッグ持参率の状況

(店舗名)	2017年度	2018年度	
ララ新戸町	48.9%	41.5%	☹
ララなめし	55.8%	46.7%	☹
ララ矢上	46.6%	39.2%	☹
ララ富の原	38.3%	31.5%	☹
ララながよ	50.7%	43.8%	☹
ララあたご	35.8%	27.1%	☹
ララ黒髪	38.7%	30.6%	☹
ララ花高	40.8%	31.6%	☹
ララ日野	29.8%	23.2%	☹
ララ全体	42.7%	34.8%	☹

※2018年版環境報告書では、2017年度のララ全体のマイバッグ持参率を43.9%と表記していましたが、42.7%へ訂正させていただきます。

2017年度から500円以上のご利用の組合員（ララカード持参）を対象にレジ袋を辞退された場合に2ポイントの付与を案内し取り組みましたがマイバッグ持参率は、前年対比で低下しています。

引き続き、マイバッグ持参への協力を呼び掛けています。



○レジ袋の使用状況

	2017年度	2018年度	使用量 (枚)
レジ袋	4,060,500	4,089,800	☹

レジ袋の使用状況（枚数）は、前年比で増加状況となっています。

主なプラスチック容器の使用状況

	2017年度	2018年度	使用量 (kg)
集品袋	65,965	66,295	☹
レジ袋	25,096	25,033	☺
トレイ	107,081	105,798	☺
その他	4,169	4,653	☹
合計	202,311	201,779	☺

容器別使用重量については、前年比99.7%の削減状況となっています。

該当する商品の容器包装廃棄物の再商品化については、今年度の実施と来年度においても（財）日本容器包装リサイクル協会へ委託しました。



水道水の使用状況

全体では、54,684㎡の使用量となっています。昨年度と比較すると100.1%の増加の状況となりました。月次での使用量把握により、運用状況や機器の不具合などを監視し、著しく増加傾向にある場合は、原因を追究し対応しています。

業務におけるコピー・印刷用紙の使用状況

全体では、21,174kgの使用量となっています。昨年度と比較すると90.7%の削減の状況となりました。裏紙の使用、両面印刷を基本として運用しています。また、無駄な使用を抑制する為にミス印刷防止にも努めています。

会議によっては、ペーパーレスでパソコンを各自持参しデータを使って会議を実施しています。

事業活動の状況次第で、チラシなどの発行が増加する場合がありますが、年間の計画の中で抑制を図るよう努力しています。

環境配慮商品の普及・廃棄物削減の取り組み

環境配慮商品の普及状況

コープのコアノンロールや洗剤等を主な環境配慮商品としておすすめする中で環境や社会問題解決に貢献できる商品をすすんで選ぶ「エシカル消費」の取り組みへ繋げています。

環境配慮商品の外部認証マーク



※環境配慮商品については、エコマーク、有機JAS、MSC、FSCなど、社会的に認知された外部基準を日本生協連CO-OP商品の環境配慮商品基準として導入されています。

主な環境配慮商品（例）



カーボンフットプリント

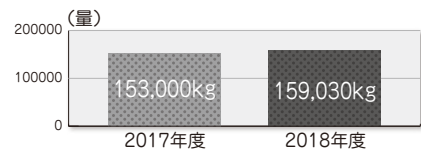
カーボンフットプリントとは、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算し、商品やサービスに分かりやすく表示したものです。



廃棄物の排出状況

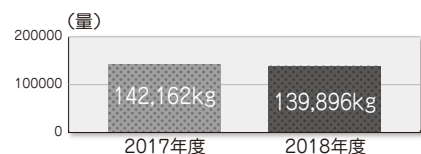
○可燃ごみ

総排出量は、159,030kgです。前年対比で、103.9%の増加状況です。事業系可燃ごみとして処理されています。



○生ごみ

総排出量は、139,896kgです。前年対比で、98.4%の削減状況です。店舗で発生している生ごみの排出量になります。



○不燃ごみ

総排出量は、10,251kgです。前年対比で、100.8%の増加状況です。事業系不燃ごみとして処理されています。



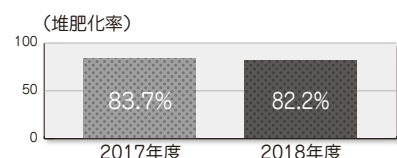
○ごみ総量（可燃ごみ＋不燃ごみ）

総排出量は、309,177kgです。前年対比で、101.3%の増加状況です。全体的に増加傾向になっています。



○店舗生ごみ堆肥化

堆肥量、115t、堆肥化率は82.2%です。前年対比で98.2%の状況です。



コミュニケーションの取り組み

コミュニケーションツール

○環境方針と取り組み状況の内部伝達について

【ハンドテキストの活用】

- ・「ララコープ行動基準」実践の為のハンドテキストのp3からp5をフロン使用機器の管理を含め省エネ取り組み（節電、エコドライブ）の運用ツールとして全役職員へ配布しました。四半期毎に取り組み状況を振り返り自己評価する欄を設定し継続的な取り組みを推進しました。

環境取り組み (CO₂排出量削減) の推進について

全体共通

- 照明は、必要最低限に使用しています。また照明が必要ない時は消灯しています。
- エアコンを事務所、休憩室、会議室等で使用する時の温度設定は、冷房と暖房の使用状況に応じて設定しています。(冷房28℃以上、暖房24℃以下)
- 電気使用の集中する時間帯(13:00~16:00)での節電は、電力不足解消に繋がる点からも注意するよう意識しています。

フロン使用機器の管理

- 目視により異常(温度上昇、霜付、油にしみ、水漏れ、フィルター目詰まり等)がないか注意しています。
- 異常音(異常振動、異常運転音等)がないか注意しています。

店舗

- 店内のエアコンや照明を営業時間外(開店時、閉店時)で使用する際は、必要最低限に調整しています。
- 冷凍庫、冷蔵庫、バックヤード、休憩室の照明は、必要ない時は消灯しています。
- 冷凍庫、冷蔵庫、ショーケースの温度管理については、温度管理表へ決まった日時に記入しています。
- ショーケースへ商品陳列する際は、冷気が適正に循環するように吸込口をふさがないように注意しています。
- 閉店後は、ショーケースにナイトカバーを取り付けています。

省エネの改善活動の基本行動

「ヤメル」「トメル」「サゲル」「ナオス」「カエル」に沿った改善活動を展開すること

四半期に一度の振り返り自己評価表
◎よくできた ○まあまあできた △不十分だった

6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間総評

車両燃料使用量を抑制します。

- 発進時のアクセルは、ふんわりアクセル(eスタート)を行っています。(参照:最初の5秒を時速20キロ程度の加速にすることで約11%燃費が改善されます)
- 走行中は、加速度の少ない運転を行っています。
- 停止する場合は、早めのアクセルオフを行っています。
- 駐車中は、できる限りアイドリングストップを行っています。
- 加速と減速を繰り返す波状運転は燃費を悪くする為、定速運転に努めています。
- 目的地の場所を事前に調べた上で効率的な走行ルートを選択して走行しています。

四半期に一度の振り返り自己評価表
◎よくできた ○まあまあできた △不十分だった

6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間総評

【部内報】

- ・毎月、月末発行の部内報へ、環境取り組み状況についてをテーマに掲載しました。供給高1億円当りのCO₂排出量 (t-CO₂/億円)、CO₂排出量 (kg)、供給高(億円)に関する数値状況と特徴的な動向についてコメントを記載し情報の共有化を図りました。この部内報は広報広聴部で編集された後、データにて全部署へ配信されています。各部署では、掲示板などへ掲示されています。

○環境方針と取り組み状況の外部伝達について

【環境報告書&ララコープホームページ】

- ・2018年版環境報告書(2017年4月~2018年3月)を内外の関係者へ配布しました。ララコープのホームページへのアップを行いました。



【ララスマイル】

- ・ララコープの広報誌「ララスマイル」では、毎月1回リサイクル資源物回収実績を掲載し取り組み状況を報告しています。また、生協のカタログや牛乳パックを始めリサイクル資源物の回収活動への協力お願いについて案内しています。



リサイクルの取り組み

カタログ・新聞・古紙の回収状況

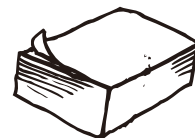
(単位：t)

	2017年度	2018年度
回収実績	1,840	1,827
前年比	97.3%	99.3%

カタログ
新聞・古紙



再生紙、
古紙原料等



共同購入の時に紐でくくらずにそのまま出して下さい。(店舗では回収していません)

前年度に対して約99%の回収状況です。無店舗でのカタログ発行者数は、前年に対して約99%の状況です。組合員へ発行している部数相当の回収を目指して取り組みを進めています。

卵パック (A-PET) の回収状況

(単位：t)

	2017年度	2018年度
回収実績	13	15
前年比	108.3%	115.4%

たまごパック
A-PET



加工しやすいように
ペレット(粒)状にして原料化



パックを開き、重ねて出して下さい。共同購入や店舗へ出して下さい。

(布団等内包材等)

前年度に対して約115%の回収状況です。容器に張り付けてある紙シールは、リサイクルする際の不純物となる為、剥がす必要があります。排出の際のシール剥がしの協力をお願いしています。

集品袋・カタログ組み袋の回収状況

(単位：t)

	2017年度	2018年度
回収実績	29	29
前年比	100.0%	100.0%

共同購入用
集品袋



加工しやすいように
ペレット(粒)状にして原料化



紙ラベル(シール)をはがして(取り除く)、共同購入で出して下さい。

(水切りネット、ごみ袋等)

前年度に対して約100%の回収状況です。生協だけで取り扱われているリサイクル資源です。年間で使用されている約66tの使用量に対して、約44%の回収状況となっています。

トレイの回収状況

(単位：t)

	2017年度	2018年度
回収実績	22	20
前年比	100.0%	90.9%

トレイ



加工しやすいように
ペレット(粒)状にして原料化



カップ麺や納豆のトレイは回収できません。リサイクルマークを確認して共同購入や店舗へ出して下さい。

(トレイ、文具類の定規や容器等)

前年度に対して約91%の回収状況です。年間で使用されている約105tの使用量に対して、約19%の回収状況となっています。

牛乳パックの回収状況

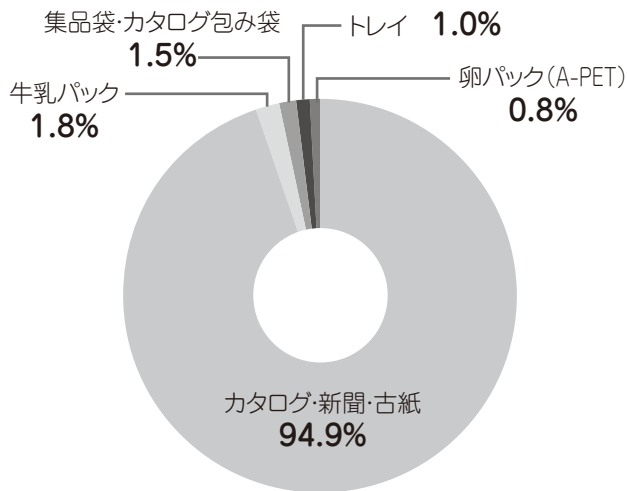
(単位：t)

	2017年度	2018年度
回収実績	38	35
前年比	92.7%	92.1%



前年度に対して約92%の回収状況です。コープのコアノンロール等へ再利用される上質なりサイクル資源です。洗浄、乾燥など行ききれいな状態を出して頂きながら回収を進めています。

2018年度リサイクル回収品の構成割合について



2018年度のリサイクル資源物の状況は、無店舗で配達をご利用の組合員から回収されたカタログ・新聞・古紙が9割以上を占めています。この間同じような状況の中で進められています。無店舗ご利用のためのカタログやチラシは、排出した事業者としても、資源物として再利用を行うよう責任を持って取り組みを推進しています。無店舗の配達商品を集品している袋やカタログを個人別に包んでいる袋も回収してリサイクルしています。また、トレイ、卵パック、牛乳パックは、無店舗と店舗の双方で回収を呼びかけ推進しています。事業所の中で使用されている段ボールについても廃棄せずリサイクルしています。回収された全てのリサイクル資源物は、各事業所で収集、整理された後、収集運搬業者を通してリサイクル業者によって商品化されています。

○環境月間街頭キャンペーンの取り組み状況 6月9日（土） 長崎市浜町ベルナード観光通り

【県南エリア】

6月には長崎県と長崎市主催の環境月間街頭キャンペーンに参加しました。県南エリア委員会でブースを出し、環境配慮商品の展示とララコープの環境に関する活動をパネルで紹介しました。食品トレイと発泡スチロールを再利用するために加工した「インゴット」と呼ばれているものを展示しており、興味をもたれる方が多く「これは何ですか?」、「持ってみていいですか?」「重たいわね～」という声が多く聞かれ、関心の高さがうかがえました。

今後も環境の取り組みを積極的におこなっていきます。



環境保全の取り組み（エリア委員会）

【県南エリア】

○「ながさきエコライフフェスタ2018」の取り組み

11月10日（土）・11日（日） 長崎水辺の森

11月には長崎市主催の「ながさきエコライフ・フェスタ2018」に参加しました。パネルの展示と牛乳パックやペットボトルを使ったリサイクル工作をおこない約700名の親子連れ等が楽しみました。

開催2日間、秋晴れのなか「みんなで取り組もう！リサイクル工作実施」ということで、牛乳パックでストローとんぼとヨーヨー、ペットボトルで小物入れとけん玉を作りました。親子で約700名の参加がありました。身近なものを使って工作できることもあり、子どもたちは目をキラキラさせて作品に飾り付けや絵を描いて制作していました。エコ活動のひとつとして楽しみながらできる工作はリサイクルを身近に感じるきっかけとなりました。



○「ながさきホタルの会」の取り組み

8月1日（水） 長崎市 中島川

8月には「ながさきホタルの会」の小川氏を講師に、夏休み企画として「ぼくらは中島川水質調査隊」を開催し、大人22名、小学生24名の参加がありました。

例年にない猛暑の中、長崎市の中心部の中島川において水質調査をおこないました。実際に川に入り魚やエビなどを観察したり名前を教わったりしながら楽しく川の生き物とふれあいました。調査の結果、中島川はややキレイな水でした。参加者からは、この川をもっとキレイにしていきたいという声が聞かれ、親子で環境について考える良い機会となりました。



【五島エリア】

○「ごとう出前講座・五島市リサイクルセンター訪問」の取り組み

1月28日（月） 崎山（向町）リサイクルセンター

1月には「ごとう出前講座」を活用して五島市リサイクルセンターを訪問し関連施設を見学しました。

リサイクルセンターを見学しました。初めて見る、ひとつひとつの作業工程の大変さがわかり、驚きと発見ばかりでした。正しいゴミの分別の仕方について詳しく知ることができ、あらためて、日々のゴミ出しに取り組むように心掛けたいと思いました。



【東彼・大村エリア】

○「廃油でろうソクを作ろう」の取り組み

8月24日（金） 長崎県環境保健研究センター

夏休みの時期に合わせて「廃油でろうソクを作ろう」を開催し20名の参加がありました。

天ぷらなどを揚げた廃油を使ってろうソク作りをしました。クレヨンを使って自分の好きな色に着色しアロマで香りをつけ、カラフルで素敵なろうソクができました。他にも環境についてのお話を聞いたり、施設見学などをしました。環境について親子で考える良い時間になりました。



○「里山であそぼう」の取り組み

10月20日（土） 徳泉川内里山村

環境について考えてもらうことを目的に親子参加型の企画「里山であそぼう」を10月に開催し24名の参加がありました。

お天気にも恵まれ、森林探検や火おこし体験、芋ほりなど里山ならではの遊びを親子で満喫しました。お昼には釜戸で炊いたご飯とカレーを食べ、その後、掘ったさつま芋の重さを競う「芋リンピック」があり、大きなさつま芋には、ひときわ歓声が上がりました。自然にふれあい、さまざまな体験をすることができ、充実した1日になりました。



【諫早・島原エリア】

○「夏休み親子工作教室～親子でオリジナルうちわを作ろう～」の取り組み

7月24日（火） 小栗ふれあい会館

親子16組、47名の方にご参加いただき、夏休みの工作にオリジナルうちわを作りました。

和紙と割り箸を使い、親子それぞれに夏らしいステキなオリジナルうちわを手作りしました。工作後は、コープ商品の試食もあり、「美味しかった」「楽しかった」「親子で夢中になって作ることができて良かった」などの嬉しいお声をいただきました。





おもいきり深呼吸?! 空気の汚れをチェックしました ～考えよう!私たちのまちの環境～



今年も大気測定を実施しました。環境問題はまさしく、私たち自身が直面している問題であることが実感できると思います。そして、その実感をくらしの見直しや地域の人たちとの具体的な行動に結びつけて行きましょう!

二酸化窒素(NO₂)とはどのようなもの? おさらいしてみましょう

- どのようなもの?** ちっそ窒素と酸素が結びついたもので窒素酸化物(NO_x)のひとつです。この窒素酸化物の中でも二酸化窒素は大気汚染の原因の主なものとされています。
- 発生原因は?** 高温でものが燃焼する時に、空気中にある窒素と燃やされるものにある窒素、燃料にある窒素が酸化され、空気中に放出されて発生します。主な発生源は自動車の排気ガスによるものですが、ストーブやタバコなどによっても発生します。
- どのような影響が?** ぜんそくなど主に呼吸器に影響を及ぼすと言われています。

どのようにして濃度をはかるのでしょうか?

- ①測定を終えたカプセルに「ザルツマン試薬」を5ml入れ、NO₂と反応させて赤紫に発色させます。※この色が濃いほどNO₂の濃度が高くなっています。
- ②赤紫色の濃さを「ユニメーター」という器械を使って調べます。これは液が入ると針がふれて濃度がわかる器械です。



専用シートに貼りつけて、カプセルの底をはずし測定場所に24時間つるします。

測定するときの雨の影響は?
カプセルの構造は底の部分からNO₂が入り、ろ紙に吸着されるようになっていきます。よって、よほどの大雨でない限り大きな影響はないと思われます。

- 今回の一斉測定:2018年11月26日(月)～12月2日(日)
 - 今回の測定ポイント
 - ・最終定点測定 76ポイント (ララコープ支所・店舗前:19ポイント)
 - ・その他一般公募、エリア委員の任意点測定 27ポイント
- 合計103ポイントで測定**

▶2018年 測定値ベスト3

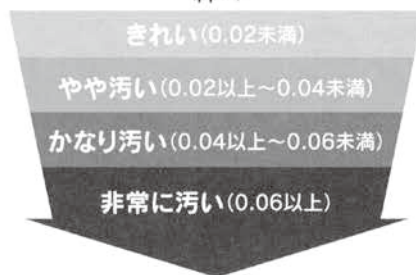
順位	測定地点	市町村	測定値
1(測定No57)	富江小学校前	五島市	0.0000ppm
1(測定No66)	五島支所 前幹線道路	五島市	0.0000ppm
3(測定No55)	福江市馬貴馬場	五島市	0.0022ppm
3(測定No62)	諫早支所 前幹線道路	諫早市	0.0022ppm

▶2018年 測定値ワースト3

順位	測定地点	市町村	測定値
1(測定No38)	長崎駅前	長崎市	0.0371ppm
2(測定No59)	長崎市 小江町 前幹線道路	長崎市	0.0368ppm
3(測定No50)	長崎市 滑石打坂	長崎市	0.0322ppm
3(測定No58)	長崎市 柳田町 前幹線道路	長崎市	0.0322ppm

※定点におけるベスト3、ワースト3です。

ララコープが定めた測定の目安 (ppm)



毎年決まった日に大気測定をするこの調査も26年目となりました。今回は定点76カ所のうち、昨年と比較して二酸化窒素が減少した場所は54カ所、上昇した場所は21カ所、変化なしが1カ所と昨年をはるかに上回るよい結果となりました。これは環境に配慮した車が増加しているということもありますが、測定日の気象条件(降水による大気中の汚染物質の浄化、さらに強風の影響を強く受けた)により、大気中の二酸化窒素が広範囲に拡散し、全体的に低い値になったものと考えられます。同じ季節でも毎年同じ気候になるわけではないように、二酸化窒素の濃度も日々、様々な条件によって変化します。風向や風速、日照、測定場所の立地条件など要因は様々です。二酸化窒素の主な発生源は車の排気ガスと言われています。自動車の使用を控えることや公共交通機関を利用するなど、まずは家庭からできる取り組みを実践していきましょう。とメッセージを発信しました。

エコライフ・ウィークの取り組み

ララコープの県南エリア委員会では、長崎市が主催する「ながさきエコライフ」の取り組みと連動しながら地球温暖化防止対策に向けた市民運動を推進しています。

この「ながさきエコライフ」の取り組み概要を踏まえ、エリア委員会だけの取り組みに止まらず、より多くの参加者によって更なる温暖化防止の取り組みを進めていく目的でララコープの環境報告書を通してご案内しています。

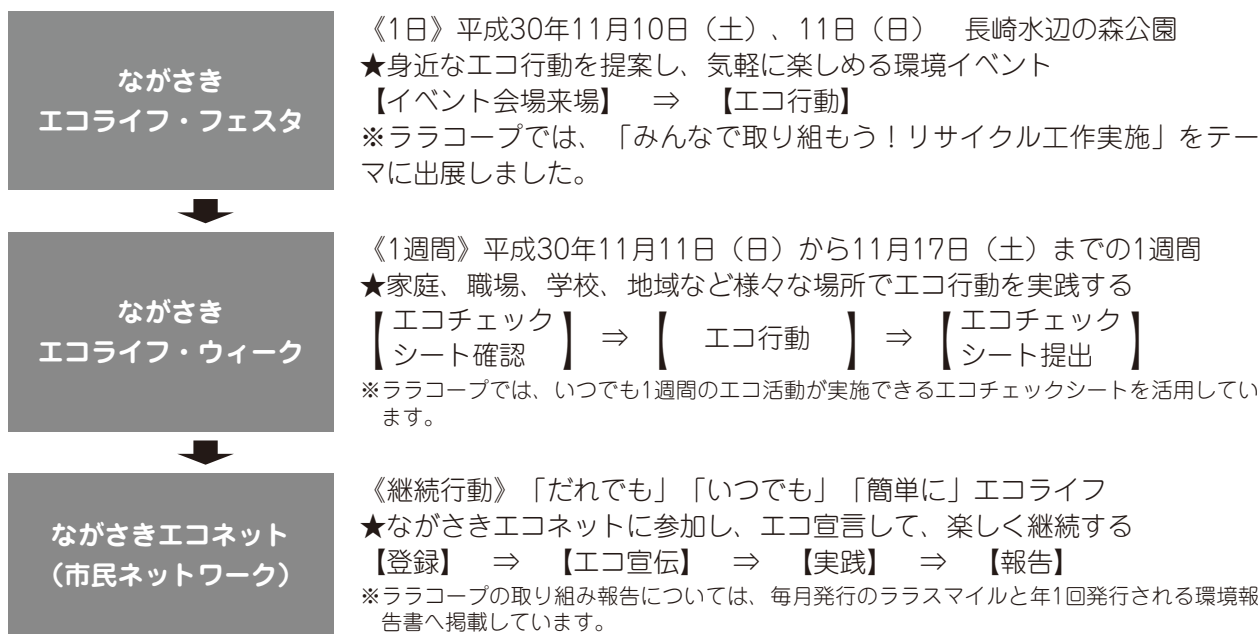
（取り組み概要）

温暖化対策を進める上では、市民一人ひとりが地球市民としての意識を持ち、身近なところから環境問題を考えていくことが重要です。

そこで「だれでも」「いつでも」「簡単に」実践できる市民のエコ行動を推進するため、エコライフ・ウィークを設け、10万人規模の市民の参加・協力を目指し、こまめな消灯、エコドライブなど身近な環境行動の呼びかけや啓発イベントとしてエコライフ・フェスタを開催します。

また、エコライフ・ウィーク期間中に市民が実践したエコ行動を記入したエコチェックシートをもとにCO₂（二酸化炭素）削減量として集計し、公表します。

併せて、みんなでエコな行動に取り組み、情報を共有し、メンバーどうしが交流することで、楽しいエコを継続していく「ながさきエコネット」を広げて行きます。

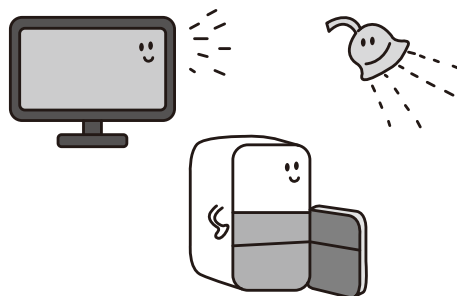


《エコ行動の「見える化」 《CO₂（二酸化炭素）削減量の公表》

2018年度の取り組み状況（長崎市による報告）

区分	参加人数	CO ₂ (二酸化炭素削減量)
エコライフ・フェスタ	53,000人	26.4 t
エコライフ・ウィーク	62,200人	262 t
ウィークの内訳	家庭	15,200人 144 t
	学校	32,900人 59.4 t
	職場等	14,100人 59.0 t
合計	115,000人	289 t

※合計数値は四捨五入して記載しています。



ララコープにおいても、エコライフ・ウィークの取り組みを広げて行きたいと思えます。エコライフ・ウィークの期間を決め、エコチェックシートをララコープへご提出ください。

ウラ面で
きっそく
チャレンジ

エコライフ・ウォーク ～エコチェックシート～

★CO₂の削減量及び節約効果はあくまでも目安であり、実際の使用機器や使用条件等により変動します。

★取り組みのチェックは、おおむねできたと思ったら○をつけてください。




できたところに
○をつけてください

	エコチェック項目	1日あたり削減 できるCO ₂	年間節約効果 (1世帯)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
				()	()	()	()	()	()	()
部屋	エアコンは必要ときだけつける (設定温度は冷房28℃ 暖房20℃を目安に)	97g	約1,350円							
	誰もいない部屋の照明を消す	39g	約550円							
	テレビを見ないときは消す 	28g	約380円							
	照明を白熱電球から 電球型蛍光灯やLED電球に取り換えた	138g	約1,900円							
	使っていない電化製品は主電源を切るか コンセントからプラグを抜く	37g	約650円							
台所	冷蔵庫にもものをつめこまず、 扉を開けている時間を短くする 	99g	約1,370円							
	炊飯器は4時間以上保温しない	180g	約2,490円							
風呂・洗面所	お風呂は、お湯が冷めないうちに、 家族みんな続けて入る	233g	約6,740円							
	お風呂の残り湯を洗濯や水やりなどに 利用する	18g	約4,750円							
	シャワーを出しっぱなしにしない 	82g	約3,390円							
	温水洗浄便座は、使わないときはフタを閉め 温度を低めに設定する	100g	約1,390円							
買い物	地元産の食材を食べる 	57g	-							
	マイバッグを使う (レジ袋をもらわない)	62g	約730円							
車	外出するときはなるべく徒歩や自転車、 公共交通機関を利用する	600g	約12,290円							
	運転はゆっくり発進、ゆっくり加速する 	531g	約10,880円							

1日分合計	約2.3kg	約130円
1年分合計	約840kg	約48,860円

わたしたち家族は 人でエコ行動を実践しました

エコライフ度診断 (1日の○の数)

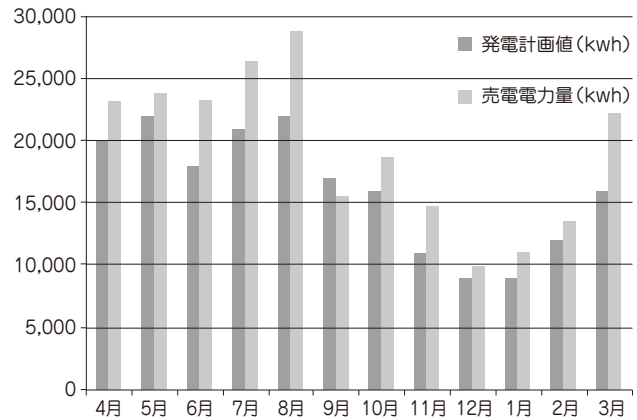
-  0~5個 がんばろう、まずはエコに関心を持つことから!
-  6~10個 エコライフの意識をもっています! 他にも出来ることを探してみよう!
-  11~15個 ばっちりエコライフしてます! その調子で続けよう!

省エネの取り組み

太陽光発電の取り組み状況

ララコープ本部発電所の太陽光発電システムの稼働状況は、2018年度についても想定発電量を年間で超過することができました。9月は前年より曇りの天候が多く日照不足により予測を下回っています。

月	発電計画値(kwh)	売電電力量(kwh)	達成率(%)
4月	20,000	23,227	116.1%
5月	22,000	23,826	108.3%
6月	18,000	23,286	129.4%
7月	21,000	26,414	125.8%
8月	22,000	28,838	131.1%
9月	17,000	15,598	91.8%
10月	16,000	18,721	117.0%
11月	11,000	14,776	134.3%
12月	9,000	9,931	110.3%
1月	9,000	11,047	122.7%
2月	12,000	13,565	113.0%
3月	16,000	22,271	139.2%
合計	193,000	231,500	119.9%



フロンの使用と管理の状況

年間の算定漏えい量は、503.22t-CO₂となっています。6施設（4店舗、2支所）の冷凍冷蔵設備から漏えいが発生しています。

ララ黒髪においては、算定漏えい量が231.29t-CO₂でしたが、上期中に修理を完了し、第四四半期の漏えいは発生しませんでした。今年度は、漏えい件数、漏えい量、算定漏えい量t-CO₂ともに前年実績を下回り、基準値（算定漏えい量1000t-CO₂）以内に抑制することができました。

法令に基づき年4回（6月、9月、12月、3月）の各事業所長による外観目視、温度、異音確認を中心とした簡易点検を実施しました。

3月の簡易点検では新任支所長も一緒に点検しました。

冷凍冷蔵設備（定格出力7.5KW以上）については、年1回の定期点検を9月から10月の期間で全店舗、6支所を委託業者にて実施しました。

異常箇所については特にありませんでした。

充填冷媒	充填量(kg)	温暖化係数	t-CO ₂
R-22	86.00	1.81	155.66
R-404A	78.00	3.92	305.76
R-410A	20.00	2.09	41.80
年間合計	184.00	—	503.22
前年比	64.0%	—	92.9%

月度	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
このケースの管理温度は()〜()℃です。	チェック済	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ
時	チェック済	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ
分	チェック済	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ
秒	チェック済	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ

* 1日3回定時での「機器温度チェック(品質管理表)」をマニュアル化しています。

省エネチューニングの取り組み状況

省エネの取り組みを推進する為に、専門業者である(株)ファイナルゲートと提携し、省エネチューニングの手法による電力使用量及び金額の削減を推進しています。

エネルギーのムダをなくすように設備の運用調整を行っています。範囲は、負荷の低減、熱源設備の効率運転、ポンプや空調機などの搬送動力の低減、空調や換気の運用改善、照明設備に関する多岐にわたる内容となっています。





LIVE AND LIFE
LaLa
AMUSEMENT



 **生活協同組合 ララコープ。**

本報告書の内容やララコープの環境活動などについて
ご意見・ご質問などがございましたら下記までお問い合わせください。

EMS事務局 長崎県西彼杵郡長与町岡郷1474番地
TEL.095-887-0300 FAX.095-887-0656
URL <https://www.lala.coop>

